



サービス

ミュンヘン観光局は、ミュンヘン訪問の情報とインスピレーションの源です。

連絡方法:
電話: +49 89 233-96500, 月曜日から金曜日 午前9時から午後5時まで
Email: tourismus.gs@muenchen.de

観光案内所:
市庁舎 (マリエン広場8, Marienplatz 8)

サービス:

- ・ ミュンヘンと観光スポットに関する情報
- ・ ホテルの部屋の手配
- ・ 販売: ミュンヘンカードやミュンヘンシティパス、市内ツアー、ガイド付き市内ツアー、特別ツアー、アドベンチャーパウチャー、周辺地域やバイエルンの城や湖へのツアー
- ・ お土産や観光パンフレット

季節変化の可能性あり

個々のお客様向けの公開ガイドツアー:
オクトーバーフェスト、ミュンヘンのクリスマスマーケット、アワードゥルトなど、幅広いテーマのツアーや季節限定ツアーから選択できます。

情報と予約:
www.simply-munich.com/guides
と観光案内所です。
(マリエン広場8, Marienplatz 8)

グループ向けのプライベートガイド付きツアー:
上記のガイドツアーに加えて、グループは「ロイヤルミュンヘン」と「女性なしでは何もできない」などの特別ツアーを選択することもできます。ツアーの日付、期間、言語、テーマは個別に手配できます。私たちのガイドは非常に国際的で、合計20言語を話すことができます。

情報と予約:
電話: +49 89 233-96500
Email: tourismus.guides@muenchen.de

好奇心をお持ちですか?
それであれば、ガイド付きツアーの予約をしてみてください!

JP

simply-munich.com
#simplymunich

simply
MUNICH

知っておくと便利な情報



ミュンヘン訪問

ゲストチケット: ミュンヘンカードやミュンヘンシティパスを利用すれば、ミュンヘンで提供されている文化やレジャー活動を探索することがとても簡単です。公共交通機関の無料乗車も利用できます!

営業時間: 主要なショッピングエリアのお店は通常、月曜日から土曜日の午前10時から午後8時まで営業しています。

祝日: 元日 (1月1日)、公現祭 (1月6日)、聖金曜日、復活祭の日曜日と月曜日、労働者の日 (5月1日)、昇天の日、聖霊降臨祭の日曜日と月曜日、聖体の祝日、聖母被昇天の日 (8月15日)、ドイツ統一の日 (10月3日)、諸聖人の日 (11月1日)、クリスマス (12月25日/26日)。

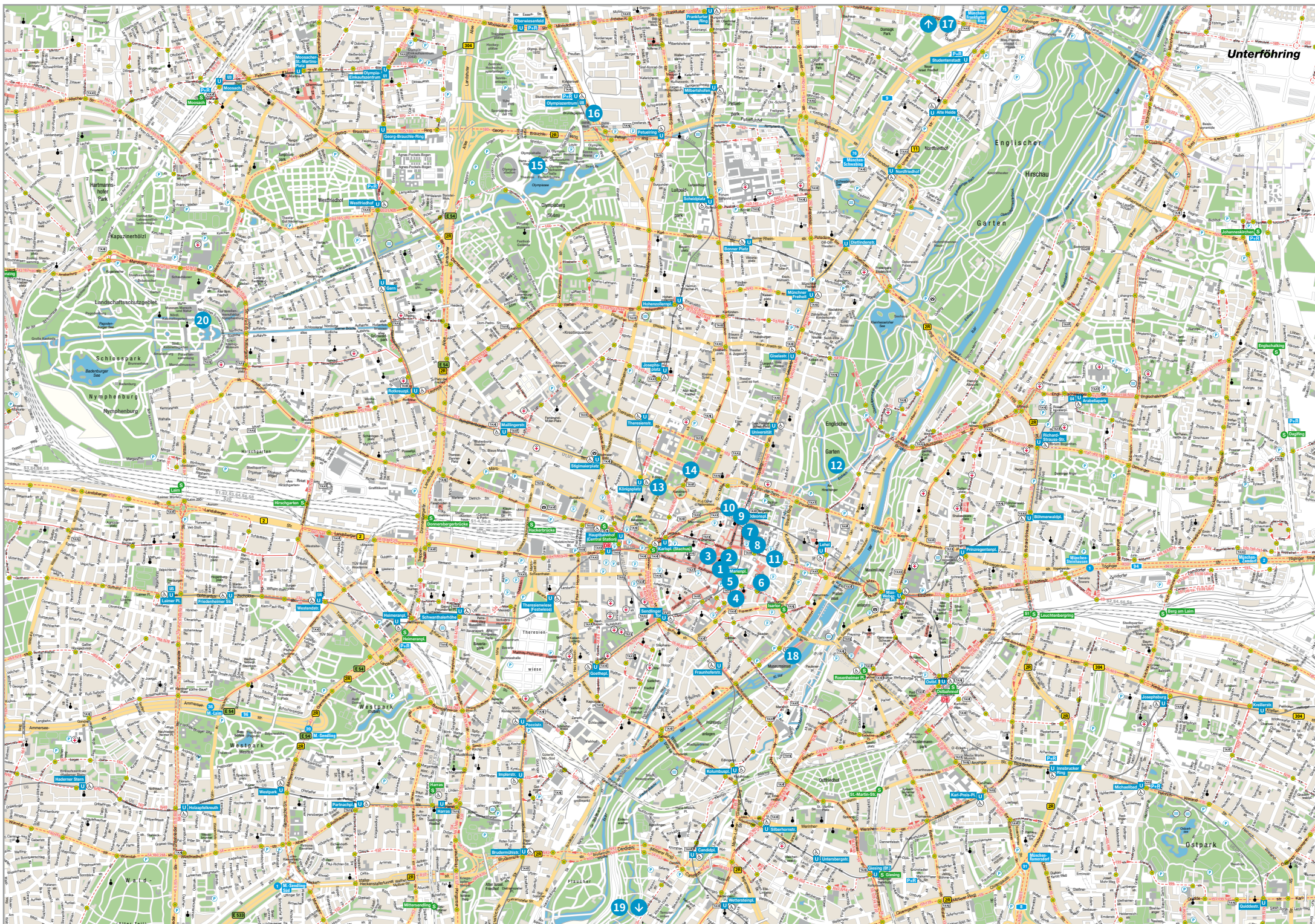
ミュンヘンでのバリアフリー観光: 移動に制限のある方や重度の障がいのある方のための個別相談は、観光案内所または下記ウェブサイトへ: www.muenchen-barrierefrei.de/en



現在の営業時間とすべてのサービスをオンラインで確認するには:
www.simply-munich.com/touristinfo
で直接にご予約ください:
www.simply-munich.com/booking



法的情報 / 出版社: ミュンヘン市、労働経済局、ミュンヘン観光局、ヘルツォーク・ヴィルヘルム・シュトラッセ15, 80331 ミュンヘン
Email: tourismus@muenchen.de, www.simply-munich.com
コンテンツ/コンセプト/デザイン: ナンセンとピカール、ミュンヘン観光局
地図作成: サークスメディア社、ミュンヘン
画像クレジット: ミュンヘン観光局
2026 年 04 月現在、変更やエラーが生じる可能性があります。



ミュンヘンへようこそ



最も人気のある見どころ

ミュンヘンは常に魅力的ですが、これらの観光スポットは特に魅力的です。愛に落ちる素晴らしい20の機会です!

1 マリエン広場 (Marienplatz)

1158年に誕生した以来、市の中心部で公式的な中心地です。ここはミュンヘンへのほとんどの旅が始まる場所であり、すべてが一体となる場所です。中央には、輝く黄金の聖母マリアがマリアン柱から街を見守り、新旧の市庁舎を見ることが出来ます。クリスマスマーケットからFCバイエルンの優勝祝賀会まで、定期的にお祭りが開催されます。

2 新市庁舎 (Neues Rathaus)

新市庁舎はミュンヘンの政治の中心であり、ほとんどの訪問者は世界的に有名なグロッケンシュピールをより壮観だと感じます。バイエルンの騎士が毎日午前11時、正午、夏季には再び午後5時に、槍でライバルを馬から引き落とし、赤いジャケットを着たシェフラーたちが伝統的なダンスを披露します。この塔からは、市内を一望できる他に類を見ない景色を眺めることができます。

3 フ라우エン教会 (聖母教会) (Frauenkirche)

フ라우エン教会 (聖母教会) は旧市街の中心に位置し、ミュンヘンのランドマークです。典型的なドームを備えたツインタワーは、遠くからでも認識できます。この教会は、ミュンヘンの名建築家ヨルク・フォン・ハルスバッハの計画に基づいて 1488年に完成しました。南塔にはエレベーターと 89 段の階段でアクセスできます。

4 ヴィクトゥアリエンマルクト (Viktualienmarkt)

200年前は単純な農産物市場でしたが、今では市内で人気のあるグルメスポットの一つです。約100の店があり、日常のパンや果物、野菜から最高の美食まで、心から望むものすべてを提供します。同様に人気があるのは、市場の中心にあるビアガーデンです。

5 アルターペーター (Alter Peter)

地元の人々から親しみを込めて「アルター・ペーター」と呼ばれる聖ペーター教会からの景色は、一見の価値があります。91メートルの高さの塔の展望台までの階段は300段以上あります。しかし、一度頂上に到達すると、ミュンヘンの最も美しい景色の一つを展望できます。

6 ホフブライハウス (Hofbräuhaus)

ホフブライハウスはおそらく世界で最も有名なパブで、ミュンヘンがビール街になる上で重要な役割を果たしました。1607年からここでビールが醸造され、1828年に公共のパブとして宣言されました。それ以来、世界中からの旅行者を魅了してきましたが、彼らだけではなく、毎日の訪問者の半数は常連客です。

7 ミュンヘン・レジデンツ (Residenz)

公爵、選帝侯、国王: 1508年から1918年までのバイエルンの統治者はレジデンツからその臣民の情勢を指揮していました。現在、これはドイツで最大の都心宮殿であり、過去数世紀の栄華を垣間見る比類なき機会を提供しています。

8 国立劇場 (Nationaltheater)

バイエルン国立オペラは、350年以上の歴史を誇り、世界でも最も伝統的なオペラハウスの一つです。バイエルン国立オペラは、バイエルン国立バレエ団と共に、マックス・ジョセフ・プラッツの国立劇場でその技術を披露しています。この劇場では、リヒャルト ワグナーによるオペラの世界初演が少なくとも五回行われており、そのプログラムは今日まで輝き続けています。

9 フェルドヘルンハレ (Feldherrnhalle)

オデオン広場にあるフェルドヘルンハレは、フィレンツェのランツィのロッジに似ています。これは偶然ではありません: ルートヴィヒ1世はイタリア芸術の熱烈な崇拜者であり、彼の宮廷建築家フリードリヒ・フォン・ゲルトナーは、フィレンツェのオリジナルをモデルにするよう明確に依頼されました。

10 テアティーネ教会 (Theatinerkirche)

オデオン広場にあるテアティーネ教会は、黄土色のファサードと壮大な内部を持つ、ミュンヘンで最も美しい教会の一つであり、アルプス山脈以北で最初のイタリア高バロック様式の教会です。

11 マクシミリアン通り (Maximilianstraße)

マクシミリアン通りは、ミュンヘンで最も高級な通りです。ファッションや宝飾業界のほぼすべての国際的な高級ブランドがここに集まります。ここでの高級感、中心部のロケーションだけではなく、独特のマクシミリアン様式の壮大な建築により感じられます。

12 エングリッシャー・ガルデン (Englischer Garten)

エングリッシャー・ガルデンは世界最大級の都市公園だけでなく、ミュンヘンの緑豊かなリビングルームでもあります。ここは、人々が活気ある南部で出会い、静かな北部で牧歌を求め、アイスバッハの波でサーファーの大胆な技に驚き、あるいはビアガーデンで交流する場所です。

13 ケーニヒス広場 (Königsplatz)

ミュンヘンの中心部にある古代の一片: 当時の皇太子および後の国王ルートヴィヒ 1世は、19世紀初頭にケーニヒスプラッツを建設し、アテネのアルコポリスをモデルにしました。その広場は、プロキュリア、グリュプトテーク、および古代美術品の州コレクションという三つの壮大な建物で囲まれています。

14 クンスタリアル (Kunstareal)

わずか500メートル×500メートルの地域には、14の博物館や展示施設、20以上のギャラリー、六つの大学、そして数多くの文化施設が集まっています。クンスタリアルは、ヨーロッパで最大でもエキサイティングな文化センターの一つです。最も人気のあるハイライトには、アルテ・ピナコテーク、ピナコテーク・デア・モデルネ、レンバッハハウスが含まれています。

15 オリンピア公園 (Olympiapark)

ミュンヘンのオリンピア公園は、オリンピック会場の再利用が成功した世界的な代表例です。今日まで、ここで1972年のオリンピックの「オリンピックスピリット」を感じることが出来ます。また、ミュンヘン最大のステージを備えたオリンピックスタジアムで、スリリングな野外コンサートを経験することもできます。

16 BMW ワールド (BMW Welt)

BMW ワールドは、現代建築の傑作に加えて、自動車メーカーの体験センターとしての役割も果たしています。市内の主要な観光スポットの一つであり、年に300万人以上が訪れ、BMWによって創造されたモビリティの現在と未来を発見します。

17 アリアンツ アレーナ (Allianz Arena)

2005年に開業したばかりですが、既に市内のランドマークの一つとなっています: アリアンツ・アリーナで一流のサッカーの試合を観戦し、FCバイエルン・ミュンヘンに感嘆することができます。ヘルツォーク&ド・ムーロンが設計したアリーナは、イベントに応じて適切な色で輝きます。30万個のLEDと1600万色の組み合わせによって、それが可能になっています。

18 ドイツ博物館 (Deutsches Museum)

100年以上の前に技術革新の展示を目指して設立されたドイツ博物館は、現在世界で最も重要な科学技術コレクションの一つを収蔵しています。

19 ヘラブルン動物園 (Tierpark Hellabrunn)

ヘラブルン動物園は、1911年に世界で最初のジオサリーの一つとして開設しました。ここに生息する動物は大陸ごとに分類されているため、動物園を散策すると、まるで世界一周旅行のようです。イーザール川に直接隣接した自然保護区に生息する約18,500匹の動物を魅惑的に楽しめよう!

20 ニンフェンブルク宮殿 (Schloss Nymphenburg)

ニンフェンブルク宮殿は、18世紀から19世紀にかけて、バイエルンの選帝侯や国王の夏の離宮として使われていました。今日、この180ヘクタールの敷地は、ヨーロッパでも最も重要な城の一つです。童話のようなシュロスパークも特別に魅力的です。



